

新潟メタリコン工業株式会社  
代表取締役 兼 営業本部長  
井筒 昇さん

# 磨いてきた表面加工技術を 世界とつながる大空へ

**表面加工一筋**  
我が社は1950年9月に先代である私の父が中央区で創業し、その後東区に拠点を移し、表面加工一筋でやってきました。在庫を持たず倒産しにくいという理由から表面加工を始めた先代から聞いています。

**逆境から航空機産業へ**  
航空機産業への参入を考えたのは2008年ごろ。当時、金属加工や表面処理などの仕事の受注が、費用が安いという理由で東南アジアの会社へ移ってしまっている状況でした。

NSPに参加し南区の戦略的複合共同工場に入居する企業に、航空機産業に参入したきっかけや今後の目標を聞きました。

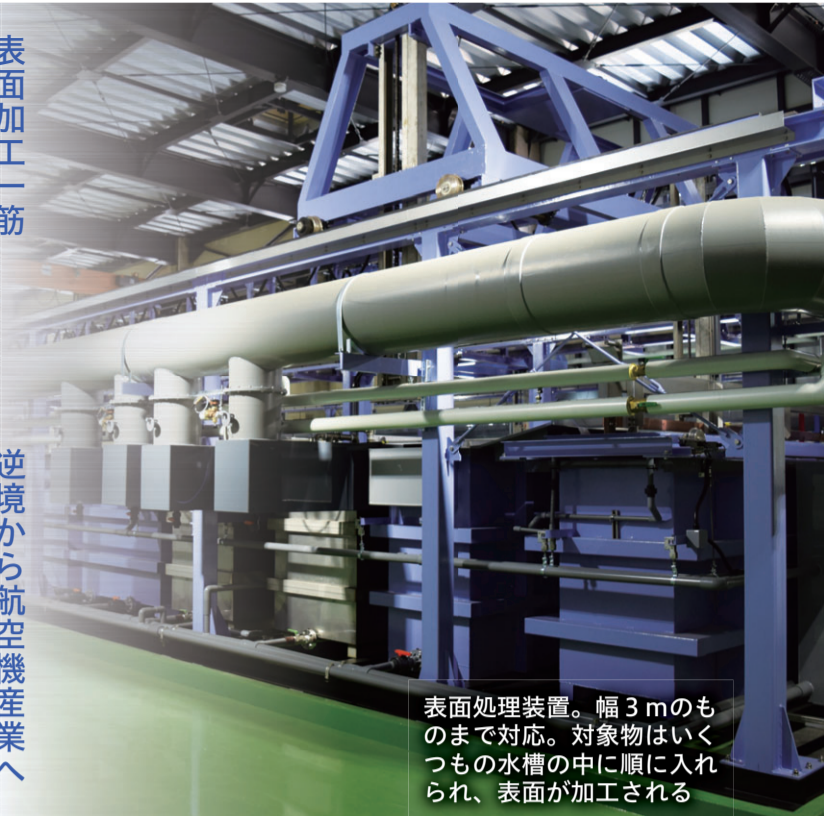
**険しかった参入への道のり**  
NSP、NSCAの一員として、2017年から南区の共同工場で航空機のエンジン、トイレ、キッチン部分に使われている部品などの表面加工を担当しています。しかし、これまでの道のりは険しいものでした。

**新たな仕事と人材を獲得**  
航空機産業に参入したことで、良い影響が出ています。常に新しいことに挑戦してきた結果、信頼と技術の向上につながり、航空機関連以外にも新たに大手企業から仕事の依頼が来るようになりました。

## 将来の目標

将来は会社全体の売り上げを今の3倍以上にしたいと考えています。航空機関連の売り上げは今は全体の1〜2割程度ですが、将来的には5割を目標にしています。

社員がやる気を持ち、新しいことに挑戦できる「進化し続ける会社」でありたいと思います。



表面処理装置。幅3mのものまで対応。対象物はいくつもの水槽の中に順に入れられ、表面が加工される



高速で回転するエンジン部品のひとつ(製造元は共同工場内に入居する佐渡精密株)

## 新たな仕事と人材を獲得

で情報共有を図ったり、社員の意欲が上がるよう社内の経営体制を変えたりしました。また、認証審査機関とのやり取りのために英語を話せる人材を採用したほか、県外から講師を招いて勉強会を開催するなどしました。すべてをクリアするまでに5年以上かかりました。

## 航空機だけじゃない 成長産業への取り組み

517-1 イーストスタートアッププログラム  
■ JR EAST STARTUP PROGRAM



新潟駅開発を見越し、AIなどの先端技術を活用した新たなビジネスや観光の促進など、地域創生につながる取り組みをJR東日本と連携して募集。今年1月から採択事業者による実証実験が行われています。

エヌ テック ラボ  
■ N Tech Labo



最先端のテクノロジーを通じ、さまざまな人が集い、学び、つながる場づくりを支援。新たなビジネスの創出と未来を担うICT人材の育成に取り組んでいます。



## 編集後記～取材を終えて

地元に着しながら確かな技術力で世界に挑戦する企業が市内にあることを知り、一市民としてとても誇らしく感じました。

「新潟市って飛行機が有名だよ」と言われる日が来ることを楽しみにしています。